（SIP – 表紙）

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

課題名：国家レジリエンス（防災・減災）の強化

**研究開発項目　Ⅸ. 実大部材地震挙動解析システム開発**

**研究開発課題提案書**

***注意：青字斜体の文言は記入例または注釈になります。提出時は削除して下さい。***

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究開発課題名 | ***（応募する研究開発項目に基づき提案する研究開発内容がイメージできる名称とすること、30字以内）*** |
| ２．研究責任者氏名 |  |
| ３．所属機関・部署・役職 |  |
| ４．研究者番号 | ***（e-Radへ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載して下さい。）*** |
| ５．研究開発課題要旨 | ***「研究開発構想」（SIP - 様式1）の（１）～（８）の項目ごとに、要点をまとめて下さい。文字数は、全体で1,000文字以内とします。*** |
| ６．研究開発費規模（間接経費含む） | 研究開発費総額　　　 　　千円***（千円未満は四捨五入して下さい）*** |

***※項目1.～６.はそのままe-Rad申請時に、ブラウザ上で入力していただきます。***

***詳細は公募要領P.21～22をご覧下さい。***

（SIP - 様式1）

**１．研究開発構想**

*（****作成に当たっての注意）***

* ***公募審査委員会等が理解しやすいように記述して下さい。そのため、必要に応じて図や表も用いて下さい。***
* ***様式1の（１）～（８）について、A4用紙で　10ページ以内（厳守）にまとめて下さい。***
* ***枚数によらずe-Radへアップロードできるファイルの最大容量は10ＭＢですので、ご注意下さい。***
* ***青地斜体の文言は注釈になります。提出時は削除して下さい。***
1. **社会背景と研究開発の目的**

***公募要領を踏まえ、当該分野に関連する現在の社会の状況（ニーズ等）を分析し、提案する研究開発によってどのようなイノベーションがおこり、社会に還元できるか、記載して下さい。***

1. **研究開発項目と目標（社会実装）**

***公募要領を踏まえ、研究期間中に取り組むべき研究開発課題とその内容、研究終了時および研究終了後に達成しようとする目標（社会実装）について具体的に記載して下さい。***

***特に、公募要領ｐ１０に記載の「２．研究開発項目の内容について　〇技術的課題と目標(アウトプット)」の①、②、③を重視しています。***

***また、製作する実証試験機等が、研究終了後も、有効活用できるような体制が整えられることを重視しています。研究終了後の試験機に係る運用体制や収支計画等を具体的に示して下さい。***

1. **研究開発計画の進め方**

***設定した各研究開発項目の実施にあたり、研究開発機関における具体的な体制（研究開発実施組織、運営会議体設置・活用の考え方等を含む）や、実証実験の実施方法、研究開発の進め方（手段・プロセス：研究開発終了時の目標と達成すべき目標、成果の明確化を含む）について記載して下さい。***

***また、開発を推進するにあたり予想される問題点とその解決策を記載して下さい。***

***特に、実証試験機等の製作については、工事の種別、例えば、調査準備工事、建屋工事、機械工事等に分け、それぞれの工事項目について、想定される製作工程、適切な工期を詳細に示して下さい。また、実証試験は想定する試験方法とそれにより達成する定量的な性能・機能及び装置の品質について、明確にして下さい。***

（SIP - 様式1（続き））

1. **研究開発実施の基盤**

***本研究開発構想を実施するにあたって基盤となるこれまでの研究開発、今までに実施したプロジェクト等の内容と成果、その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）について具体的に記述して下さい。***

***特に、公募要領ｐ１０に記載の「２．研究開発項目の内容について　〇技術的課題と目標(アウトプット)」の①に対して、提案する技術の実現性について知的財産、論文等の具体的な根拠を示して下さい。***

1. **国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性**

***関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、この研究開発構想の世界の中での位置づけ、独創性、新規性や優位性を示して下さい。***

1. **出口戦略・取組**

***本研究開発構想によって得られた成果を社会実装するにあたり、現在想定している出口戦略・取組について具体的に記載して下さい。なお、出口戦略では他の研究開発項目との連携等が重要です。想定している連携等があれば具体的に記載して下さい。***

***なお、知財に関しては、バックグランド知財権を明確にするとともに、提案する技術について知財権の獲得を重視して戦略的に進めて下さい。知財権の取得には、PCTに基づく国際出願も含みます。論文発表は、公知の事実となりますので知財権の獲得に支障のない範囲に限定するよう十分に注意して下さい。***

1. **産業界からの投資**

***投資見込額及びその内容について具体的に記載して下さい。***

**（８） 研究開発課題のスケジュール**

***研究開発課題の主なスケジュールを記載して下さい。項目は内容に従って適宜設定して下さい。研究開発は2022年12月末までとし、最終報告を2023年2月末までにとりまとめて下さい。***

（SIP - 様式1（続き））

***（記入例）***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **第4四半期**（2022.3） | **第１四半期**（2022.4～6） | **第2四半期**（2022.7～9） | **第3四半期**（2022.10～12） | **第4四半期**（2023.1～2） |
| ***○○特性の解析*** |  |  |  |  |  |
| ***○○モデルの構築*** |  |  |  |  |  |
| ***データの取得・解析*** |  |  |  |  |  |
| ***法制度的検討*** |  |  |  |  |  |
| ***○○手法の開発*** |  |  |  |  |  |
| ***実験の実施*** |  |  |  |  |  |
| ***評価実施と効果検証*** |  |  |  |  |  |

（SIP - 様式2-1）

**２−１．研究開発実施体制（１）**

（実施体制の構成図）

***※ 研究開発課題の実施体制については、採択後に見直しをお願いすることがあります。***

***※ 研究開発課題の構成が簡単に分かるように、研究開発の項目を単位として図示して下さい。研究開発チーム外の協力機関がいる場合には、協力機関との関係も記載して下さい。***

***※ 研究責任者が属する機関を研究開発機関とし、それ以外の機関を共同研究開発機関として下さい。***

***※ 各機関の分担する研究開発の項目のほか、それぞれの機関で責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を記載して下さい。***

***※チーム全体の責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を青字にて記載して下さい。***

***※チーム内で社会実装の責任者として中心的な役割を果たす方の所属・役職・氏名を青字にて記載して下さい。***

***※研究責任者・主たる共同研究者が社会実装責任者・社会実装担当者を兼ねることは可能ですが、専任の者がいることが望ましいものとします。***

***※実証試験機等の製作における、品質や製作工程を監理する体制を明記してください。***

***＜例＞***研究開発チーム

共同研究開発機関（１）

主たる共同研究者：

実施項目もしくは役割：

社会実装担当者：

研究開発機関

研究責任者：

実施項目もしくは役割：

社会実装責任者：

共同研究開発機関（２）

主たる共同研究者：

実施項目もしくは役割：

社会実装担当者：

共同研究開発機関（３）

主たる共同研究者：

実施項目もしくは役割：

社会実装担当者：

フィードバック

データ提供

協力機関：

協力者：

実施項目もしくは役割：

（SIP - 様式2-2）

**２−２．研究開発実施体制 （２）**

（研究開発機関の体制）

***※研究責任者が所属する研究機関における研究開発参加者を記入して下さい。***

***※研究責任者と同じ所属機関の研究開発参加者が、研究開発機関の研究実施項目及び概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、共同研究開発機関として記入しても結構です。***

**研究開発機関**

***（記入例）***

|  |  |
| --- | --- |
| **研究機関名** | ***○○大学大学院*** |
| **担当** | **氏名** | **所属部署・役職** | **専門** | **エフォート****（研究責任者のみ）** |
| ***研究責任者*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・教授*** |  | ***○○***％ |
| ***＊＊の開発に従事*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・准教授*** |  | － |
| ***社会実装責任者*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・教授*** |  | － |
| ***＊＊の実装に従事*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・准教授*** |  | － |

***※エフォートには、研究者の年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記入して下さい。***

***※研究開発機関の構成メンバーについてはその果たす役割等について十分検討して下さい。***

***※研究開発参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員○名」といった記述でも結構です。***

***※研究開発参加者の行は、必要に応じて追加して下さい。***

* **特記事項**

***※特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入して下さい。***

* **研究題目及び概要**
	+ **研究題目**
	+ **研究開発概要**

***※研究開発機関が担当する研究の概要を簡潔に記載して下さい。***

* + **研究開発構想における位置づけ**

***※研究構想を実現するために研究責任者が果たす役割等を記載して下さい。***

* + **研究開発システムの社会実装**

***※社会実装を実現するために社会実装責任者または社会実装担当者が果たす役割等を記載して下さい。***

* **研究開発の実施体制**

***※実証試験機等の製作における、品質や製作工程を監理する体制を明記してください。***

* **契約・経理の遂行体制**

***※契約・経理の遂行体制及び責任者を明記して下さい。***

（SIP - 様式2-3）

**２−３．研究開発実施体制 （３）**

（共同研究開発機関の体制）

***※研究責任者の所属機関以外の研究機関（共同研究開発機関）の研究者が加わる場合、その研究開発参加者を研究機関ごとに記入して下さい。***

***※産学官からの様々な研究機関を共同研究開発機関とすることが可能です。***

***※共同研究開発機関の数に上限はありませんが、研究開発構想の遂行に最適で必要な研究開発チームを編成して下さい。研究責任者が担う役割が中心的でない、共同研究開発機関の役割・位置づけが不明である研究開発チームの編成は、研究開発実施体制としては不適切です。***

***※研究開発チームとして研究開発機関以外の共同研究開発機関を加えることは、必須ではありません。***

**共同研究開発機関（１）**

***（記入例）***

|  |  |
| --- | --- |
| **研究機関名** | ***国立研究開発法人　◇◇研究所***　（所属研究機関コード１）） |
| **担当** | **氏名** | **所属部署・役職** | **専門** | **エフォート****（主たる共同研究者のみ）** |
| ***主たる共同研究者*** | ***○○　○○******（研究者番号2））*** | ***○○研究部 主任研究員*** |  | ***○○***％ |
| ***＊＊の開発に従事*** | ***○○　○○*** | ***○○研究部　研究員*** |  | － |
| ***社会実装******担当者*** | ***〇〇　〇〇*** | ***〇〇研究部　主任研究員*** |  | － |
| ***＊＊実装に従事*** | ***○○　○○3）*** | ***○○研究部　研究員*** |  | － |

***1）主たる共同研究者は、所属先のe-Rad所属研究機関コードを記載して下さい。***

***2）主たる共同研究者は、e-Radへ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載して下さい。***

***3）研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。***

* **研究題目及び概要**
	+ **研究題目**
	+ **研究開発概要**

***※本共同研究開発機関が担当する研究開発の概要を簡潔に記載して下さい。***

* + **研究開発構想における必要性**

***※研究開発構想を実現するために本共同研究開発機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ（研究責任者及び研究開発機関との役割等の関係を含む）等を記載して下さい。***

* + **研究開発構想における位置づけ**

***※研究構想を実現するために主たる共同研究者が果たす役割等を記載して下さい。***

（SIP - 様式2-3（続き））

* + **研究開発システムの社会実装**

***※社会実装を実現するために社会実装責任者または社会実装担当者が果たす役割等を記載して下さい。***

* **共同研究開発の実施体制**

***※実証試験機等の製作における、品質や製作工程を監理する体制を明記してください。***

* **契約・経理の遂行体制**

***※契約・経理の遂行体制及び責任者を明記して下さい。***

* **研究開発進捗による研究開発実施体制変更について*（変更が予想される場合のみ記入）***

***※研究開発が順調に進捗し、開始当初は参画の必要がないが、進捗に従い新規の共同研究開発機関等が必要になると予想される場合に、増強分野・サブテーマ・時期等について記入して下さい。（候補者の名前を記入する必要はありません）。***

（SIP - 様式2-4）

**２－４．研究開発実施体制 （４）**

（協力機関の体制）

　**研究開発チームへの協力機関**

***※実際に研究開発を行う研究開発機関、共同研究開発機関とは別に、本研究開発に対して協力する機関（協力機関）の協力者がいる場合、その協力者、本研究開発への協力内容及び研究開発チームとの間でのこれまでの協力関係の有無も記載して下さい。***

***（記入例）***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **組織名または所属・役職・氏名** | **本研究開発への協力内容** | **これまでの****協力関係の有無** |
| ***○○　○○　△△大学******△△学部　教授*** | ***○○に関する助言、協力*** | ***有*** |
| ***○○研究所******△△会社　△△部長*** | ***データ提供*** | ***無*** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**○　研究開発チームと協力機関の協働の具体的な方法**

***※研究開発チーム間及び研究開発チームと協力機関、それぞれが協働する具体的な方法について記載して下さい。***

**○　研究開発チームと協力機関の関係**

***※研究開発チームと協力機関との間にこれまでに協力関係があった場合には、どのような協力関係があったかを、協力機関ごとに記載して下さい。***

 ***※また、現時点での協力機関との関係はどのようになっているか、協力機関ごとに具体的に記載して下さい。***

（SIP - 様式3）

**３．研究開発費計画**

***当初の研究開発期間における研究開発チーム全体の年次計画概要、費目別の研究開発費計画と研究開発グループ別の研究開発費計画を記入して下さい。***

***面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発費計画を提出いただく場合もあります。***

***採択された後の研究開発費は、SIP全体の予算状況、PD等によるマネジメントに応じ、研究開発期間の途中に見直されることがあります。***

***研究開発実施体制は、研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案して下さい。支援グループを編成する場合、その必要性や予算配分の妥当性、コストパフォーマンス等も重要な選考の観点となります。***

***（記入例）***

* **実施項目別の研究開発費計画（線表）（研究開発課題全体）**

***実施項目ごとに、実施機関が分かるように記載して下さい。また、線表の下に経費見込額（間接経費を含む）を記載して下さい。研究開発は2022年12月末までとし、最終報告を2023年2月末までにとりまとめて下さい。***

 ［単位：千円］

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **第4四半期**（2022.3） | **第１四半期**（2022.4～6） | **第2四半期**（2022.7～9） | **第3四半期**（2022.10～12） | **第4四半期**（2023.1～3） |
| ***(1)・・に関する研究開発と社会実装******①・・・に関する試験******②・・・に関する設計******(2)・・に関する研究開発と社会実装*** |  |  | ***○○千円******・・の試験(××研究所)******○○千円******・・の準備(○○大学)*** |  | ***とりまとめ(○○大学)******○○千円*** |

（SIP - 様式3（続き））

（前ページより続く）

***（記入例）***

* **費目別の研究開発費計画（研究開発課題全体）**［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **2021年度** | **2022年度** |
| **Ⅰ 設備費1)** |  |  |
| **Ⅱ 材料・消耗品費2)** |  |  |
| **Ⅲ 旅費3)** |  |  |
| **Ⅳ 人件費・諸謝金4)****（研究員等の数）** |  |  |
|  |  |
| **Ⅴ その他5)** |  |  |
| **直接経費（Ⅰ～Ⅴ）小計** |  |  |
| **間接経費（◯％）** |  |  |
| **合計** |  |  |

***※研究開発費の費目と、その使途は以下の通りです。***

1. ***設備費：新たに設備を購入するための経費***
2. ***材料・消耗品費：材料・消耗品を購入するための経費***
3. ***旅費：研究責任者、主たる共同研究者及び研究参加者の旅費、招へい旅費等***
4. ***人件費・諸謝金：研究員・技術員・研究補助者等の人件費、諸謝金***

***（研究員等の数）：研究開発費で人件費を措置する予定の研究参加者の人数***

1. ***その他：上記の他、当該研究開発を遂行するために必要な経費***

***（研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等）***

***※間接経費は、直接経費の15%を上限に設定できます。公募要領P. 22～23 「（２）．間接経費について」参照***

* **特記事項**

***※研究開発費総額に占める割合が、人件費50%、旅費30%を超える場合は、その理由を本項に記載して下さい。***

（SIP - 様式3（続き））

（前ページより続く）

* **機関別の研究開発費計画**

***※研究構想を実現する上で適切な研究開発費計画であり、研究開発のコストパフォーマンスが考慮されていることや、共同研究開発機関への予算配分の妥当性も重要な選考の観点となります。なお、研究開発費には間接経費を含みます。***

***（記入例）***［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究機関名** | **2021年度** | **2022年度** |
| **研究開発機関** |  |  |
| **共同研究開発****機関（１）** |  |  |
| **共同研究開発****機関（２）** |  |  |
| **合計** |  |  |

* **活用予定の主要設備（機器名、設置場所）**

　***（記入例）○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○研究機構***

***○○○○○○ ○○大学 （基盤ネットワーク拠点整備装置）***

* **購入予定の主要設備（1件5,000千円以上、機器名、概算価格）**

　***（記入例）○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

 （SIP - 様式4）

**４．研究責任者の略歴**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究責任者氏名 |  |
| 学歴（大学卒業以降） | ***（記入例）******昭和◯◯年　◯◯大学◯◯学部卒業******昭和◯◯年　◯◯大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了******（指導教官：○○○○教授）******昭和○○年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了******（指導教官：○○○○教授）【記入必須※】******平成○○年　博士（○○学）（○○大学）取得******※　利害関係にある評価者の排除のため、指導教官名、所属した研究室の室長名は必ず記載して下さい。*** |
| 研究歴（主な職歴と研究内容） | ***（記入例）******昭和◯◯年～◯◯年　◯◯大学◯◯学部　助手******○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究******昭和◯◯年～○○年　　◯◯研究所　研究員******○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事******平成◯◯年～◯◯年 ◯◯大学◯◯学部教授******◯◯◯について研究*** |
| 照会先（利害関係にも言及すること） | ***応募者の研究について良くご存じの方を3名以上挙げて下さい（外国人でも可）。それぞれの方の氏名、所属、連絡先（電話/電子メールアドレス）を記入して下さい。選考（事前評価）の過程で、評価者（推進委員会委員等）が、提案内容に関して照会する場合があります。******応募者と利害関係がある場合には、利害関係の内容についても記入して下さい（利害関係の定義は応募要領「Ⅱ．6．（3）利害関係者の選考への不参加」を参照下さい）。******（記入例）******○○　○○：○○大学大学院工学研究科******TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.ac.jp******利害関係：なし******□□　□□：□□研究所□□研究室******TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.or.jp******利害関係：共同プロジェクト（NEDO）実施中*** |

（SIP - 様式5）

**５．論文・著書リスト（研究責任者）**

* **主要文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。***

* **参考文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げて下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。***

（SIP - 様式6）

**６．論文・著書リスト（主たる共同研究者）**

* **主要文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。***

* **参考文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げて下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。***

（SIP - 様式7）

**７．特許リスト**

* **主要特許**

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

***※近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、***

***A4用紙1ページ程度で記入して下さい。特許に関係した研究責任者または主たる共同研究者を付記して下さい。***

（SIP - 様式8）

**８．社会実装責任者・社会実装担当者の経歴・経験**

* **経歴**

***※社会実装責任者又は社会実装担当者の経歴をA4用紙最大1ページ程度で記載して下さい。書式は任意です。***

* **研究成果の社会実装に関わった経験**

***※これまでの研究成果や社会実装に関わった経験がある場合は、その具体的な内容を記載して下さい。書式は任意です。***

（SIP - 様式9）

**９．他制度での助成等の有無**

***研究責任者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入して下さい。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消し又は減額配分となる場合があります。***

***＜ご注意＞***

* + ***「不合理な重複及び過度の集中の排除」に関しては、公募要領P.24～26を参照して下さい。***
	+ ***現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、巻末のお問い合わせ先まで電子メールで連絡して下さい。***

**研究責任者（応募者）：氏名*○○　○○***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究開発費名（研究機関・配分機関等名1） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割2） | 2021年度の研究開発費（期間全体の額）3）　　（千円） | エフォート4）（％） | 研究開発内容の相違点及び他の研究開発費に加えて本応募研究課題に応募する理由） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

***1）現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載して下さい。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載して下さい（「資金制度・研究開発費名」の欄に「（申請中）」などと明記して下さい）。***

***2）「役割」は、代表または分担等を記載して下さい。***

***3）「研究開発費」は、ご本人が受給している金額（直接経費）を記載して下さい。***

***4）「エフォート」は、年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記載して下さい【総合科学技術会議における定義による】。本制度に採択されると想定した場合のエフォートを記載して下さい。申請中のものは採択された場合のエフォートを記載して下さい。***

***5）必要に応じて行を増減して下さい。***

（SIP - 様式9（続き））

（前ページより続く）

**主たる共同研究者：氏名　*◇◇　◇◇***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究開発費名（研究機関・配分機関等名1） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割2） | 2021年度の研究開発費（期間全体の額）3）　　（千円） | エフォート4）（％） | 研究開発内容の相違点及び他の研究開発費に加えて本応募研究課題に応募する理由） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**主たる共同研究者：氏名*□□　□□***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究開発費名（研究機関・配分機関等名1） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割2） | 2021年度の研究開発費（期間全体の額）3）　　（千円） | エフォート4）（％） | 研究開発内容の相違点及び他の研究開発費に加えて本応募研究課題に応募する理由） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

***1）～4）については前ページのカッコ内をご参照下さい。***

***5） 必要に応じて行を増減して下さい。***

（SIP - 様式10）

**１０．人権の保護および法令等の遵守への対応**

***※研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述して下さい。***

***例えば、実証試験機等の製作に伴う消防法等の各種許認可手続き、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、研究機関内外の委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。***

***なお、該当しない場合には、その旨記述して下さい。***

（SIP - 様式11）

**１１．新規参画研究開発機関に求められる資料等**

***※SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」の研究開発に参画実績がない研究開発機関は、以下の資料またはこれに準ずるものを添付・提出して下さい。***

***①事業内容の概要が分かる資料***

***②資産および負債等財務に関する資料***

***③当該機関の内部規程等（就業に関する規程、会計に関する規程、旅費に関する規程等）***

***④本契約に係る業務実施管理体制が分かる資料***

***⑤本契約に係る契約・経理の実務推進体制が分かる資料、調達等に係る業務フロー（別添「物品・役務調達フロー（記入例）」参照）***

（SIP - 様式12）

**１２．その他特記事項**

***※SIPに応募した理由、研究開発に際してのご希望、ご事情その他について、自由に記入して下さい。***

***※海外の研究機関を研究開発チームに加える場合は、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記入して下さい。***

***※研究開発実施場所が現在の所属機関と異なる場合は、その理由を記入して下さい。***

***※特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記入して下さい。***

***※研究開発実施期間中に研究開発責任者が定年を迎える場合、定年後の研究開発実施体制に関する考えや予定を記入して下さい。具体的な体制について、面接審査にて詳しい説明をお願いすることがあります。また、面接審査時に、所属（もしくは予定している）機関の長による機関内での身分保障等を明記した承諾書の提出をお願いすることがあります。所属機関長とは人事権を有する長を指します。***

（SIP - 様式13）

**誓 約 書**

私及び当法人等は、下記１及び２のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。また、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１．契約の相手方として不適切な者

（１）法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77 号）第2 条第2 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

（２）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

（３）役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

（４）役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

（５）役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

２．契約の相手方として不適当な行為をする者

（１）暴力的な要求行為をする者

（２）法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

（３）取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

（４）偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者

（５）その他前各号に準ずる行為を行う者

委託事業「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」Ⅸ．実大部材地震挙動解析システム開発」

年 月 日

住所（又は所在地）

機関名及び応募申請者名

生年月日

＊個人の場合は上記に記名するにあたって、生年月日も併記して下さい。

＊法人の場合は役員の氏名及び生年月日が明らかとなる資料を添付して下さい。

（SIP - 様式13（続き））

***※応募申請者名として、所属する機関の代表者（代表取締役、学長、理事長等）名を記載して下さい。***

***※個人の場合は生年月日を記載して下さい。***

***※法人の場合は全ての役員の氏名及び生年月日が明らかとなる資料を添付して下さい。***

***※記名押印の場合は、契約書を締結するときと同じ印を押印して下さい。***

***※国立大学法人、国立研究開発法人及び地方自治体は提出不要です。***



別添